

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営いちょう下和田団地公営住宅新築工事	階数	地上10F
建設地	大和市下和田字竹ノ鼻512番1他4筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	352 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年1月10日
敷地面積	7,793 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 多摩設計
建築面積	1,609 m <sup>2</sup>	確認日	2023年1月10日
延床面積	10,119 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 多摩設計



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.2**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	住棟は東西向きに配置し常に安定した明るさと均等した日照時間を確保することに配慮している。集会所、コミュニティルーム、コミュニティ広場のコミュニティゾーンを交差点近くにまとめて配置し地域からのつながりを視覚的にも誘導している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
自然採光を積極的に取り入れた明るい空間としている。内装は全面的にF☆☆☆☆を採用するとともにVOCについても測定を行う。	バリアフリー新法を満たしている。	敷地内に通路などの空地を設けることにより風の通り道を確保している。植栽、中高木の設置等、敷地内環境へ配慮した植栽計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能に配慮した建物外皮の計画を実施し、ZEH Orientedを満たす仕様としている。	住戸の間仕切りは分別が容易な内装パネル工法の採用	駐輪場、駐車場は適切な量整備

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される